

退職される皆様からメッセージをいただきました

(敬称略 五十音順)



「退職にあたって」 愛知県保健医療局 こころの健康推進室 幾田 純代

愛知県保健師の私にピリオドを打ちます。38年のうち15年は、県庁のいくつかの部署で仕事をし、思いもよらず県庁で退職を迎えることとなりました。県庁での仕事は、地域で暮らす人たちとの直接的な関わりは極めて少ないです。だからこそ、それまでに地域で出会った人々やその関わりから学んだことが、仕事をする上でのベースになっていました。そして、地域の人々の暮らしに思いを馳せ、その人たちを支える保健所や市町村の保健師の声に耳を傾け、現場の保健師たちの活動がより良いものとなるように、保健師としての私を意識しながら仕事をしてきたように思います。もちろん、不十分なことばかりでしたし、皆様にはたくさんご迷惑をおかけしたと思いますが。

しかしながら、保健師長会の皆様には、本当にお世話になりました。忘れもしないのは、統括保健師の立場に就いてまもなく起こった熊本地震です。それまでの業務や保健師長会等を通して交流のあった市町村保健師の皆様にごれほど助けていただいたことでしょうか。保健師長会という行政の枠組みを超えた職能団体の重要性を再認識したものです。退職にあたり改めて感謝申し上げます。

コロナ禍で直接交流する機会が激減してしまいましたが、コロナが落ち着いたら従来の保健師長会の活動をぜひ再開させてくださいね。県・市町村を超えたつながりをこれからも大切に、さらに発展させてくださることを願っています。



「退職を迎え、今思うこと」 安城市 子育て健康部 岩瀬 由紀子

こうして、無事退職を迎えられるのは、行政で働く保健師の仕事にやりがいを持ち続けられ、様々な刺激があったからだと感じています。

行政で長年働く保健師は、保健活動だけでなく、保健師としての知識が直接関係のない行政活動にも考え方を提供し、行政に役立つ喜びを持つことができると思いました。

本来、保健業務や福祉業務だけでなく、行政は、市民に安全と安心、さらには生きていく希望を失わせないために役立たなければならぬと思います。行政に携わる専門職や一般職が同じ方向を目指し、それぞれの知識と経験を共有しながら助け合わなくてはと、つくづく感じました。また、これまで38年間の職務を全うできたのも、辛い時や苦しい時には、話を聞いていただき、アドバイスをしていただいた、同僚や上司の助けがあり、みんなにフォローしていただいたからこそと感謝の気持ちしかありません。

今や保健師は、大震災や新たな感染症が発生した時などの健康危機管理の主要な担い手として、さらに、介護予防や虐待関係等、様々な分野で、ますます活躍を期待される職種です。そのため、今後の時代を支える保健師の方々が、過度な負担を背負うことなく、脈々と受け継がれる保健活動と社会情勢により変化する仕事に、やりがいと魅力を感じ、働き続けられる環境が整えられることを願っています。

「還暦を迎えて！」

東海市 市民福祉部 後藤 文枝

私が、東海市に就職したのは、昭和 58 年で老人保健法施行の年でした。この老人保健法は無くなってしまいましたが、それまで保健所を中心に保健事業を展開していたのが、住民の身近な市町村業務として、健康教育・健康相談・訪問指導等が位置付けられました。

私たちは、専門学校の保健科で、「これからは市町村の時代だ。」と言われ、多くの同級生が市町村に就職しました。

その時の東海市の保健師は、5 人でした。今は 21 人です。この数字を見るだけでも市町村業務が、母子保健・介護保険・特定健診・精神保健等どれほど増えてきたかわかりますよね。

そのたびに、「保健師って何だろう」と常に自問自答してきましたが、この年になって思うのは、時代の変遷の中で、国の政策に振り回されてきましたが、生活者や市民目線で、唯一予防の視点で、活動ができるのが保健師です。

個人の問題・家族の問題・地域の課題・市町村の課題等を人口動態や健診結果等の既存統計や市民の声を聴いて、地区診断し、その解決策を企画立案し、計画や政策に挙げて、実施し、評価していくのが保健師です。

事務屋や事業屋にならないで、保健の専門職としてのプライドを持って、予防や健康づくりの視点で活動していただきたいですし、活動できる環境をつくっていただくことを期待しています。後輩の皆様のご活躍を応援いたします。がんばってください。



「退職を迎え、今思うこと」 愛知県精神保健福祉センター 立松 敏子

昭和 58 年 4 月に就職して 38 年が経ちました。保健師学校を卒業して病院に 2 年、その後は保健所などで保健師として勤め、最後の 3 年は精神保健福祉センターで精神保健福祉業務に従事しました。保健師としての後半は師長会にお世話になり、研修の開催にも携わり、幅広い研修にも参加させていただき、本当にありがとうございました。

少し振り返ってみますと、保健所に勤務した昭和 60 年頃は、3 か月健診と 3 歳児健診は保健所業務、1 歳半健診は市町村業務となり、母子健診は管内保健師で協力して一緒に行き、集団指導用のスライドなどの資料を手づくりした記憶があります。市町村保健センターの建物はなく、市保健師は役所内で勤務しており、保健所と市役所をお互いに行ったり来たりで業務を進めました。

また、先輩保健師の後を自転車について家庭訪問し、途中で一緒に喫茶店に入った思い出もあります。のんびりしたよい時代だったかと思います。その頃の保健所は保健師以外に、放射線技師、栄養士、歯科衛生士、精神衛生相談員が勤務しており、いろんな職種の方と出会い、自身の視野が広がったと思います。

当時、子育てで不安のある母を支援していて、自分自身も少し不安定になってしまったことがありました。最終的には不幸な結果になってしまい、その母の不安をきちんと聞けなかった、距離を保って寄り添えなかったのだと反省しました。対人サービスに従事していると、いろいろ大変なことがある一方、それ以上に相談者からは元気をもらいました。

コロナウイルスの感染拡大により保健師業務も変化し、人材育成や業務管理などますます大変になり、リーダーとしての苦労が増えると思います。会員の皆様も、第一にご自身のこころとからだをすこやかに保ち、それぞれの場での活躍を期待しております。

「退職を迎えて、今思うこと」 愛知県豊川保健所 福永 愛子

県の保健師として34年間の務めを終えます。家族や職場の皆さんに支えられ、充実した楽しい保健師生活を送ることができました。ありがとうございました。これまで保健師として「住民のために何ができるだろう、何が必要なのか」と自分に問い続けながら、憧れる先輩の後ろ姿や、出会った方々から様々なことを学んで進んできたように思います。これまで失敗や大きな壁も多々ありましたが、失敗を失敗に終わらせずに次に活かすことや、新しいことにチャレンジし、様々な人とつながり保健活動をするものの醍醐味を知り仕事を続けてきました。保健師は様々な所属に配置されますが、自分の置かれた所属でベストを尽くし、その学びと経験を次の保健活動に活かしていただけたらと思います。今後の皆様のご活躍を願っています。

「退職を迎えて」 愛知県春日井保健所 山本 恒子

昭和59年に保健師として愛知県に就職し、37年間務めることができました。

時々のめぐりあわせで、今としては珍しい保健所一筋の勤務歴となり、最後を初任地で迎えることができました。一つの保健所に長く勤務したり、2回目の勤務となることも多く、管轄の市町の保健師さんと一緒にいろいろな仕事をできたことも大きな喜びでした。

昭和・平成・令和と目まぐるしく世の中が変わっていくなかで、就職時にはあまり意識していなかった健康危機管理の問題が大きくなりました。阪神淡路大震災・東日本大震災等災害時の派遣、鳥インフルエンザ・豚熱・新型コロナウイルス感染症等への対応。保健師にいろいろ期待されることの大きさと、現実に対応することの難しさを感じながら、業務に向かうことも増えました。そんな時も、多くの仲間と一緒に考えながら関わってきたように思います。

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、保健師長会の研修をはじめWebでの開催が増えました。研修の場等で、昔なじみの仲間と会って話をしたりすることが、結構大事だったんだなと改めて思い、そういう機会の少なかった今年度がとても残念でした。お会いできなかった方、お世話になった方々に、この場をかりて感謝いたします。

ありがとうございました。



退職を迎えられる皆様 (敬称略 順不同)

愛知県	市町村
こころの健康推進室	安城市 岩瀬 由紀子
精神保健福祉センター	西尾市 磯貝 真澄
一宮保健所	稲沢市 水野 律子
春日井保健所	東海市 後藤 文枝
豊川保健所	田原市 河合 智栄子

*愛知県支部で把握している方を掲載しています。

愛知県支部研修会報告

<第1回> 令和2年11月14日(土)

講演「新型コロナウイルス感染症の最新情報」

講師：公立陶生病院 武藤 義和 氏

参加状況：当日 会場参加者 45名
後日 動画視聴回数 466回
(22日間の計)

新型コロナウイルス感染症の感染・発病・治癒後の経過、治療状況、PCR検査や抗原・抗体検査の意義、手洗い・換気等の予防方法などについて、実践やエビデンスに基づいた情報を総合的に学ぶことができ大変有意義な研修でした。新型コロナウイルスを意識して過ごす日々がしばらく続くと思いますが、今回の学びを自分自身の生活や業務に活かしていきたいと思いました。

<第2回> 令和3年2月6日(土)

講演「脳科学と心理学に基づき、
生きる力を高める支援」

講師：(株)ハートマッスルトレーニングジム
桑原 規歌 氏

参加状況：当日 オンライン参加申込 22名
後日 動画視聴参加申込 68名
視聴回数 195回 (10日間の計)

支援者が心身ともに元気であるために、「自分が無意識に思っていることが、考えや行動に影響を与えていることを意識すること」、「(脳のしくみにそった)わかりやすい言葉を使うこと」、「姿勢と感情は結びつきやすいこと」等のポイントを学びました。相手により働きかけができるよう、まずは、自分のくせを知り、自分自身のメンテナンスを心がけたいと思いました。

(名古屋ブロック 市川 多香子)

令和2年度全国保健師長研修会及び 第42回全国保健師長会代議員総会報告

令和2年度全国保健師長研修会は、「2040年を見据えた公衆衛生看護を考える～保健師活動の本質を再考する～」をテーマに11月に大分県で開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から資料配布による書面研修となりました。

また、代議員総会については、書面審議となり、すべての議案について過半数の承認をもって可決されました。

(尾張西ブロック 城谷 睦)

Congratulations!

日頃の業績を称えられ
受賞された会員の皆様

愛知県看護功労者表彰 (敬称略 順不同)

愛知県豊川保健所 福永 愛子
豊田市 鈴木 稚佳子

*愛知県支部で把握している方を掲載しています。

令和3年度全国保健師長会愛知県支部総会について

全国保健師長会愛知県支部規約第15条により「総会の開催には会員の2分の1以上の出席が必要」とされていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により従来の方式での開催が見通せないことから、令和3年度総会は、書面開催とし、特別講演会は中止とさせていただきます。ご了承くださいませようお願いします。

日時：令和3年6月5日(土) 予定【書面開催】

*審議事項など詳細については、後日、改めてお知らせします。